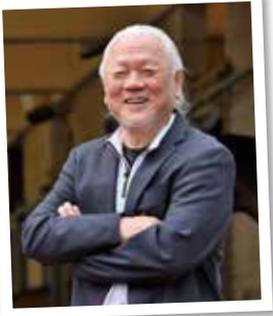


NIHON UNIV. Equestrian Team

Vol.39
2024. summer



監督 諸岡 慶

「黎明期の先へ」

今年も無事に関東学生馬術競技大会において、三種目総合14連覇を達成することができました。これも日頃から日本大学馬術部の活動にご理解、ご協力いただいている、大学の先生方、OB、OG、保護者の皆さま、そして日本大学馬術部関係者の皆さまに、この場を借りて感謝申し上げます。

さて、今回の試合結果としましては、団体優勝は馬場

馬術と総合馬術、個人優勝は馬場馬術のみでした。3種目総合こそ連覇を繋げられたものの、この結果に満足している学生はいないでしょう。秋の全日本学生では、選手1人1人が勝ちにこだわり、「日大馬術部らしい」完全優勝を達成できるように、チーム力の向上、個人の意識の変化が必要だと感じます。「誰か」に任せていては何の変化も起きません。1人1人が当事者であり、チームの一員であることを再認識してもらい、一致団結して全日本学生に向けて再始動していきます。今後も皆さまの温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

第74回 関東学生馬術三大大会 三種目総合で14連覇!!

今回の関東学生馬術三大大会(6/19～6/23)は、団体は馬場馬術競技、総合馬術競技で優勝、個人では障害馬術競技で2年砂川成弘が4位、馬場馬術競技で2年砂川成弘が優勝し、3年奥田記枝が3位、総合馬術競技で2年砂川成弘が4位でした。本学は三種目総合でも優勝し、14連覇を勝ち取りました!!

障害馬術競技の1走行目は、4年飯隈亮介&桜望、2年砂川成弘&桜真が減点4、2年鈴木美咲&ノックスVDが減点16と続きました。1走行目終了時点で、団体では本学は総減点24で4位となりました。2走行目は、2年砂川成弘&桜真が減点4、3年西悠太&桜浩が減点8、2年鈴木美咲&ノックスVDが減点11で走行を終え、総減点47で団体2位という結果で1位の中央大学とは3点差でした。障害馬術競技で団体及び個人での優勝を逃し、悔いが残る結果となりました。

馬場馬術競技では、団体・個人共に優勝することができました。2年砂川成弘&クアンドが安定した演技を披露し、最終得点率68.926%で個人優勝を果たしました。3位に3年奥田記枝&桜蝶で65.111%、11位に上田龍輝&ジェンティルで61.741%、13位に西

悠太&桜羽で60.981%という結果でした。2年砂川&クアンドは出場人馬中唯一の69%台に乗り、圧倒的な実力を見せました。総得点率195.778%という結果で団体優勝を飾りました。

最終種目となった総合馬術競技は二日間に渡って行われました。5人馬とも無事にインスペクションを通過し、調教審査で3年砂川成弘&桜彩が最終得点率69.67%で4位、4年飯隈亮介&桜望、2年伊丹媛香&イピデュロワールが最終得点67.40%で同率7位に入り、3年奥田記枝&桜恋が最終得点率67.33%で9位、1年荻野哲&桜豹が最終得点率62.00%で19位に入り、最終日の耐久審査と余力審査に向かいました。耐久審査では、5人全人馬が難しいコースを走り切り、4年飯隈亮介&桜望、3年奥田記枝&桜恋、1年荻野哲&桜豹は6位7位10位と順位を上げました。余力審査では2年砂川成弘&桜彩が4位、4年飯隈亮介&桜望が6位で入賞を果たしました。そして7位に3年奥田

記枝&桜恋、9位1年荻野哲&桜豹と続き、17位に2年伊丹媛香&イピデュロワールが入りました。団体で2位の明治大学に減点数53.1という圧倒的な差をつけ優勝し、無事に全種目を終えました。これらの成績を残せたのは、監督はもちろんコーチの方々、様々な視点からサポートをくださったOB・OGの皆様、保護者の方々のお陰です。ありがとうございました。来年も引き続き、連覇を継続するため部員一同気を引き締め日々精進していきたいと思っておりますので、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



諸岡監督 監督就任20年

令和6年6月27日に開催された、全国校友会桜門スポーツ部会総会において、諸岡監督の監督就任20年の功績を讃え、桜門スポーツ部会鈴木光会長(レスリング部OB)より表彰授与が行われました。



第74回 関東学生馬術三大大会で活躍した選手

第59回 関東学生賞典障害飛越競技
 第59回 関東学生賞典馬場馬術競技
 第75回 関東学生賞典総合馬術競技

4位
 優勝
 4位



2年 砂川 成弘
 桜真、クアンド、桜彩



去年に引き続き、3種目に出場させていただきました。今年は桜真、クアンド、桜彩の三頭で挑みましたが、結果は障害馬術4位、馬場馬術優勝、総合馬術4位と去年よりは良い結果を出すことができました。しかし、全ての種目において失敗があり課題が残る試合となってしまいました。

全日本学生の次に大切な関東学生という大会に向けて準備してきましたが、良いコンディションに持っていきなかつた自分の技術不足を痛感しました。結果としては、部に貢献することができましたが満足はしていません。また、チームとしてもまとまりがなく何一つ良いところが無かったと思います。部員一人一人が自分の役割を理解して全うすることが大切だと感じました。

さらに、全日本学生までに再度チームを見直し組み立て直す必要があると痛感しました。そのために全日本学生までの期間の間、部員全員が一つの目標に向かって突き進み、チーム一丸となって3種目団体優勝ができるようなチームにしていきたいです。必ず勝ちます。

第59回 関東学生賞典馬場馬術競技
 第75回 関東学生賞典総合馬術競技

3位
 7位

3年 奥田 記枝 桜蝶、桜恋



今回の関東学生では、賞典馬場馬術競技に桜蝶と、賞典総合馬術競技に桜恋と出場させて頂きました。初めての関東学生への出場でも緊張していましたが、とても心強い2頭とコーチのおかげで無事に終わることが出来ました。

結果は、馬場馬術競技は3位、総合馬術競技は7位と満足できるものではありませんでした。しかし、このような大切な大会に出場させて頂き、自分自身大きく成長出来たと思います。今後、更に研鑽を積み、全日本学生ではより部に貢献出来るように精進していきたいと思っています。

第75回 関東学生賞典総合馬術競技

6位

4年 飯隈 亮介 桜望



沢山の人の支えがあり無事今回も関東学生馬術大会で3種目総合優勝することが出来ました。

個人としては障害・総合馬術の競技に出場させて頂き、障害馬術では悔しい結果に終わってしまったのですが、総合馬術では個人6位に入賞する事ができ嬉しかったです。チームとしては今回14連覇がかかっておりプレッシャーはありましたが部員1人1人の頑張りがあり無事連覇を繋げる事が出来ました。しかし馬場馬術、総合馬術では団体優勝する事が出来ましたが、障害では準優勝だったのが悔やまれます。次の目標である全日本学生馬術大会では完全優勝出来るよう部員一丸となり練習に励みたいと思います。

「小学生乗馬体験教室！」を開催

令和6年6月29日(土)に、藤沢公民館主催の「小学生乗馬体験教室！」を開催しました。

応募総数129名の中から抽選で27名の小学生と保護者の皆さまに厩舎に来ていただき、引き馬での乗馬とえさやりを体験してもらいました！

馬とのふれあいを通じて、たくさんの子もたちの笑顔を見ることができ、馬のことを知れて嬉しかった、また馬に乗りたい!との感想もいただきました。地域の皆さまに馬と触れ合っていたいただき楽しい時間を過ごせました！



2024年 新入生紹介

今年も新メンバーが加わりました！

伊藤 咲蕾

岩手県立花巻北高等学校
 生物資源科学部
 動物学科



岸 まりや

浦和学院高等学校
 生物資源科学部
 国際共生学科



岡庭 悠真

三重県高田高等学校
 生物資源科学部
 獣医学科



大久保 蘭子

翔凜高等学校
 生物資源科学部
 獣医学科



馬術部員の1日 (スポーツ科学部・生物資源科学部)

開講日	4:00	4:30	7:00	8:30	12:10	16:10	16:30	19:00	20:00	21:00	
	朝の 飼い付け	馬体 チェック	朝の 運動	7:00 登校 スポーツ 科学部 一限	8:30 登校 生物資源 科学部 一限	昼の 飼い付け	夕方の 飼い付け	夕方作業	夕食	宿直	消灯
休日	4:00	4:30	5:00	9:00	12:00	13:00	16:00	16:30	19:00	20:00	22:30
	朝の 飼い付け	馬体 チェック	朝の運動	午前作業	昼の 飼い付け	午後作業	夕方の 飼い付け	夕方作業	夕食	宿直	消灯

施設紹介



浴場



トレーニングルーム



女子部屋



食堂兼
ミーティングルーム

山本 湊子

兵庫県立東播磨高等学校

スポーツ科学部
競技スポーツ学科



林 虎太郎

滋賀県立栗東高等学校

スポーツ科学部
競技スポーツ学科



荻野 哲

北海道浦河高等学校

生物資源科学部
国際共生科学部



藺島 一斗

あずさ第一高等学校

スポーツ科学部
競技スポーツ学科



穂原 克貴

愛知県立鳴海高等学校

生物資源科学部
国際共生学科



尾田 悠

熊本県立菊池農業高等学校

生物資源科学部
国際共生学科



長倉 伊吹

神奈川県立旭高等学校

生物資源科学部
海洋生物学科



西田 歩夢

札幌日本大学高等学校

生物資源科学部
アグリサイエンス
学科





31名の部員紹介



令和6年度
後期行事予定



8月

- 8月16日～18日
サマーホースショー(山梨県馬術競技場)
- 8月22日～25日
全日本ジュニア障害
- 8月30日～9月2日
全日本ジュニア総合

9月

- 9月6日～8日
争覇戦(馬事公苑)
- 9月13日～15日
キャロツステークス(馬事公苑)
- 9月19日～22日
全日本障害P2
- 9月27日～29日
全日本ジュニア馬場(馬事公苑)
- 9月28日～29日
MIKIイベントングフェスティバル
(三木ホースランドパーク)

10月

- 10月12日～13日
オリンピック記念(馬事公苑)
- 10月18日～20日
東京大会CDI(馬事公苑)
- 10月30日～11月3日
全日本学生三大大会(馬事公苑)

11月

- 11月14日～17日
全日本総合(三木ホースランドパーク)
- 11月15日～17日
自馬大会
- 11月21日～24日
全日本障害(馬事公苑)
- 11月28日～12月1日
RRCファイナル(馬事公苑)

12月

- 12月6日～8日
ジャパンブリーディングホースショー(馬事公苑)
- 12月9日～10日
全日本選手権(御殿場馬術競技場)

卒業生の主な就職先

(順不同)

- 日本大学
- JRA日本中央競馬会
- 地方競馬全国協会
- 株式会社乗馬クラブクレイン
- 福井工業大学
- 獣医師
- 株式会社P&Pホールディングス
- SMBC日興証券
- 公益社団法人日本馬事協会
- ノーザンファーム
- 有限会社松風馬事センター
- 東海道旅客鉄道株式会社
- 日本馬事普及

宿舎・馬場

〒252-0813
 神奈川県藤沢市亀井野 840
 TEL:0466-81-0288
 FAX:0466-81-8885
 ▶ e-mail
 nihonndaigakubajyutubu@gmail.com



○編集担当：富木乃香



(4年) 飯隈 亮介
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(4年) 村山 駿哉
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 上田 龍輝
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(3年) 川野 剛
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 西 悠太
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) 板垣 翔明
生物資源科学部 獣医学科



(3年) 井上 明大
生物資源科学部 生命化学科



(3年) 浅野 華菜
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 奥田 記枝
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(3年) 加藤 千佳
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) 富木乃香
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 藤本 道子
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(2年) 伊丹 媛香
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 鈴木 美咲
生物資源科学部 獣医学科



(2年) 門岡 祐樹
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 小西 龍翔
生物資源科学部 動物学科



(2年) 砂川 成弘
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 瀬口 竜也
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 吉田 要純
生物資源科学部 国際共生学科



(1年) 伊藤 咲蕾
生物資源科学部 動物学科



(1年) 岸 まりや
生物資源科学部 国際共生学科



(1年) 岡庭 悠真
生物資源科学部 獣医学科



(1年) 大久保 蘭子
生物資源科学部 獣医学科



(1年) 山本 凜子
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 林 虎太郎
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 荻野 哲
生物資源科学部 国際共生学科



(1年) 藺島 一斗
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 藤原 克貴
生物資源科学部 国際共生学科



(1年) 尾田 悠
生物資源科学部 国際共生学科



(1年) 長倉 伊吹
生物資源科学部 海洋生物学科



(1年) 西田 歩夢
生物資源科学部 アグリサイエンス学科

